

バンド受信機能について

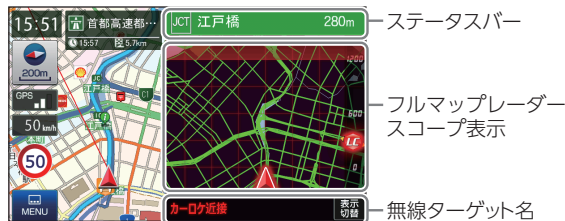
別売品のレーダー波&無線 セパレート型受信機 (OP-CR100) を使用したときのみ、無線を受信します。

取締りレーダー波の X・K ツインバンドと GPS の 3 バンドの他に、無線 14 バンド識別をプラスし、17 バンド受信ができます。

$$\text{GPS} + \begin{matrix} \text{Xバンド} \\ \text{Kバンド} \end{matrix} + \text{無線14バンド} = \text{17 BAND}$$

1. 無線 14 バンド識別機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線 14 バンド識別機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、表示と音声でお知らせします。



- ※ フルマップレーダースコープ表示における GPS ターゲットアイコン表示と無線電波の発信元とは無関係です。
- ※ 無線ターゲット名またはフルマップレーダースコープ表示にタッチするとステータスバー、フルマップレーダースコープ表示は消えます。再度、ステータスバーとフルマップレーダースコープを表示させたい場合は、[表示切替] ボタンにタッチしてください。

2. 無線 14 バンド受信機能

■ カーロケ無線(カーロケーターシステム)

カーロケ近接

「カーロケ近接受信です」
「カーロケ遠方受信です」
「カーロケ圏外です」※

「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPS による緯度・経度情報をデジタル化し、それを 407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。

- ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。
- ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。

■ 取締無線

取締無線

「取締無線です」

スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHz の電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。

- ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

■ デジタル無線

デジタル無線

「デジタル無線です」

各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz 帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

■ ヘリテレ無線

ヘリテレ無線

「ヘリテレ無線です」

ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。

※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

■ 取締特小無線

特小無線

「特小無線です」

取締り現場では、取締無線（350.1MHz）の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。

※ 取締りをしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

■ 警察電話

警察電話

「警察電話です」

移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

■ 警察活動無線

警察活動無線

「警察活動無線です」

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

■ 署活系無線

署活系無線

「署活系無線です」

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

■ 消防無線

消防無線

「消防無線です」

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用 400MHz 帯）です。

※ 消防本部等で広域に使用されている VHF 帯（150MHz 帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。

■ 消防ヘリテレ無線

消防ヘリテレ無線

「消防ヘリテレ無線です」

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。

※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

■ レッカー無線

レッカー無線

「レッカー無線です」

主に関東 / 東海 / 阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。

※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

■ 新救急無線

救急無線

「救急無線です」

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。

■ 高速道路無線

高速道路無線

「高速道路無線です」

NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。

■ 警備無線

警備無線

「警備無線です」

主に警備会社で使用される無線です。

3. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz 帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線や、ベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみ働きます。

【検問注意：特許 第 4119855 号】

【並走追尾注意 / すれ違い / 圏外識別：特許 第 3780262 号】

■ ベストパートナー6識別の設定方法

「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」「取締注意」「検問注意」の設定 (P.140) をすべて「ON」にする

※ いずれかの無線が OFF の状態では、一部のベストパートナー機能が動きません。

※ 「取締注意」・「検問注意」は、設定で ON/OFF が可能です。（* P.140）

■ 種々の無線を受信すると・・・

並走追尾

並走追尾注意

🔊 『スピード注意』

緊急車両が近くにいる可能性が高いとき

すれ違い

すれ違い注意

🔊 『遠ざかりました』

近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき

取締シグナル無線

取締注意

🔊 『取締注意』

比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき

検問シグナル無線

検問注意

🔊 『検問注意』

比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき

カーロケ近接

カーロケ遠近識別

🔊 『カーロケ近接受信です』

カーロケ遠方

🔊 『カーロケ遠方受信です』

緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき

カーロケ圏外

カーロケ圏外識別

🔊 『カーロケ圏外です』

カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

カーロケ圏内

※カーロケ圏内中は「カーロケ圏内」が表示され警報語句のお知らせはありません。

- ※ 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ※ カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は動きません。